

2024年3月期第2四半期(中間期) 決算トピックス

2023年11月14日(火)



1. 2024年3月期第2四半期(中間期) 単体決算の総括

【中期経営計画に基づく主要な取組】

➤ 本業支援の強化(事業性)

・本業支援に力を入れ、地域経済を守るために地域と連携しながら地元企業を支援

➤ 事業承継・スタートアップ支援の強化(事業性)

・SBIグループをはじめとした様々な外部機関と連携したオープンイノベーションを推進(ソリューションのバリエーションも拡大)

➤ お客さまのお困りごと解決支援の強化(リテール)

・SBIマネープラザ等を通じて、お客さまの将来に向けた資産形成・資産運用をサポート

➤ 上記に費やす時間の創出(事業性・リテール)

・DXやFintechの分野においても、SBIグループとの連携を活かして、地銀業界最先端を目指す

➤ デジタル営業の推進

・SBIグループとの連携をフル活用することで、スマートフォン支店等を通じて、商圈を域外に拡大(リージョナルからネーション・ワイドへ)

■ 企業支援室と営業店の連携による本業支援の取組が定着し、お客さまとの密接な関係が築けたこと等により、コロナ融資返済開始後においても、貸出残高は伸長

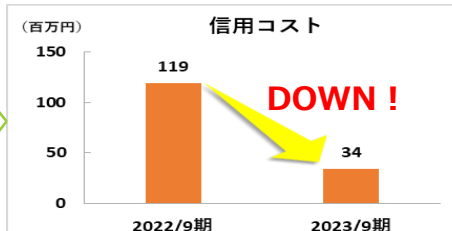
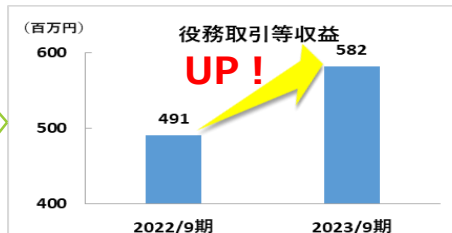
■ 住宅関連融資の堅調な推移も主な要因の一つ

■ SBIグループとの連携により提案出来る商品の内容が一段と広がったことで、ストラクチャード・ファイナンス等の手数料収入が増加

■ インフレが進む中、将来の生活防衛に繋がる金融商品(保険商品等)の販売額も増加

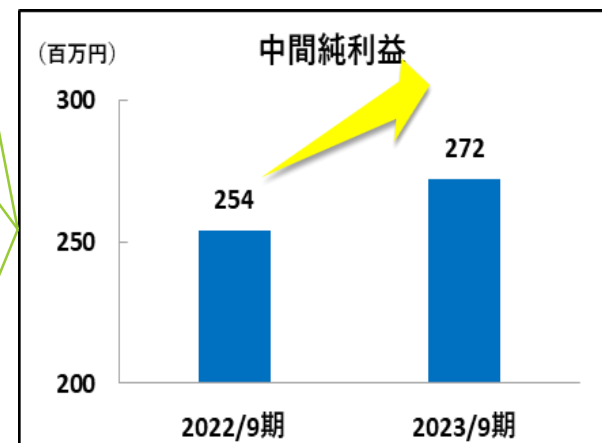
■ 継続的な経営改善支援・再生支援の取組により、取引先地元企業の収益性向上や再建計画の達成を実現

■ メイン取引先以外の地元企業とも緊密な関係も構築し、突発的な信用コストの発生を抑制



上記取組を役職員一丸
となって推進した結果

増収増益での着地!



2. これからの島根銀行

- 島根銀行は、地元企業の支援を通じた地域社会の発展への貢献のため、前向きな投資を進めている
- これに伴うコスト増などの課題に対して、調達手段の多様化や運用の拡大による収益向上を図っている

<当面の課題>

➤ 将来の前向きな投資に係るコストの増加

- ・ 次世代バンキングシステム(以下、「次期シス」)への更改(2025年度)に向けた準備や、外部専門家による顧客とのコミュニケーション能力向上に資するトレーニング(お客様の課題把握)に係るコストなどが増加

➤ 有価証券評価損の解消

- ・ 海外金利の急上昇等、市場環境の急変に伴い有価証券評価損が拡大。当該評価損の解消に向けた取組として、ポートフォリオの再構築が必要

<当面の対応>

➤ スマートフォン支店での預金調達を更に拡大

+

➤ 市場環境を見極めながら運用(例:堅調な分野の貸出金/利上げ基調の国債など)を拡大

- 将来的には、上記取組の着実な実践による強固な収益基盤の下で、この前向きな投資を活かし、以下を実現したい

当面、上記対応を図る

前向きな投資をしつつ、強固な収益基盤を構築

➤ お客さまニーズ・課題をより適切に把握できるようになり、更に質の高い金融仲介機能の提供が可能に

➤ 次期シスで業務改革が更に加速し、上記の解決策を考える時間が大幅に増加、更に迅速化も

本業支援を
量・質ともに
高度化